※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１０

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校生の美術３」　（日本文教出版）						
副教材等	WATCH2 イマジネーションの旅　（秀学社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

絵画・デザインの分野を中心とし、発想・構想の方法の学習を通じて独自の表現の可能性を探求する。美術Ⅰ・Ⅱで学んだことを基に、感性と美意識を磨き、より抽象的且つ個性的な発想・表現を追求していく。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】美術Ⅰ・Ⅱで習得した技法、色彩などの理論を作品づくりに応用する。
【思考力、判断力、表現力等】自身の追い求める主題の生成に力点を置き、独自の表現を可能とするための発想力・構想力を培う。
【学びに向かう力、人間性等】美術作品の良さを味わい、社会の中の美術の役割について考察する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	美術Ⅰ・Ⅱの学習を振り返り、美しさの感じ方の視点を吟味した上で、主題を生成し、表現技法を選択・駆使している。 色彩理論など造形要素についての知識を理解し応用している。 鑑賞においては、作家の意図や表現の工夫について考え、主題や主張、心情などがどのように作品に込められたのかを読み取っている。	感性や想像力などを働かせて、課題のテーマや条件に沿って、創造的に個性豊かな表現内容を考案・創出している。 美術の働き、美術文化についての実践的な理解を深めることで、これまでに得た知識・技能を活かした表現に結び付けている。 価値意識を持ち、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めている。	美術の幅広い創作活動に、主体的に取り組み、生涯にわたって美術を愛好する心情が育まれている。 感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や、社会を創造していこうとする意欲・態度が見られる。 根気よく作品に取り組み完成に向けて努力している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	描写・構成	「キュビスム的な見方で器物を描く」 キュビスムを資料鑑賞し理解を深めた後、器物(楽器・食器等) をスケッチし分割・再構成したドローイングを制作する。構図の工夫や面白さについて学ぶ。	a:形態と色彩の要素を効果的に扱い、工夫している。 b:形態の美しさとリズム・バランスについて深く考え、構図などをよく考えて作品に取り組んでいる。 c:美術史上の革新的動向に関心をもち、主体的に応用して描こうとしている。	作品 観察	作品 ワークシート 観察	作品 ワークシート 観察
	絵画	近現代絵画史の理解と脱・写実的絵画の制作」 前課題で触れたキュビスムから抽象的表現など絵画に対する概念を拡大した近現代美術史に触れ、制作により追体験する。	a:近現代の絵画作品について表現特性を理解して自分の作品作りに生かしている。 b:各思潮の特徴についての学びを応用して主題を生成している。独自性を表す工夫を凝らしている。 c:資料鑑賞、作品相互鑑賞も含めて主体的かつ意欲的に取り組んでいる。	作品 観察	作品 観察	作品 ワークシート 観察
二学期	デザイン	「文字と言葉による伝達ポスターの制作」 伝達のためのグラフィックデザインの要素の中でも特にタイポグラフィ(文字のデザイン)に重点を置いた実習を行う。	a:課題内容をよく理解し、タイポグラフィの技術習得・実践ができている。 b:デザインにおけるコンセプトの重要さについてよく学び構想を練っている。 c: 情報伝達という明確な目的意識を持ち主体的に作品作りに取り組んでいる。	作品 観察	作品 観察	作品 ワークシート 観察
三学期	絵画	「私の好きな風景」 これまでに訪れたことがある場所について、最も好きな(好きだった)風景を一つ決めて油彩画を描く。近景でも遠景でも良い。	a:視点による印象の違いなどに気付き、油彩画の用具を使いこなして制作している。 b: 自分で見つけた場所の魅力を視点や構図、光、陰、遠近感など表し方を工夫し、思いを込めて描いている。 c:風景から感じ取ったよさや美を表す創造活動に主体的に取り組んでいる。	作品 観察	作品 観察	作品 ワークシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度